

議員 所得税法上、障害者の方には障害者控除があるが、要介護認定者については、寝たきりの方でも、この適用がない。市として、要介護認定者の障害者控除について、どう対応するつもりか。

福祉部長 国税庁の見解では「介護保険法の要介護認定を受けている方についての所得税法施行令の規定はなく、所得税法上の障害者に該当しない場合には、要介護認定があっても、障害者控除の対象とはならない」とされています。しかし、所得税法上の障害者控除は、市町村長等の認定を受ければ認められていますので、医師の診断や保健師による訪問調査等により、個々の状況を勘案して対応していきたい。



その内容は、運本数の増発、夜9時以降の通勤快速の快速運行への変更など

6点にわたる要望です。今後も、あらゆる機会に要望してまいります。

電子入札システムの導入は

議員 建設工事の入札に当たり、2度の談合情報があり、入札を中止した経緯があるが、電子入札システムの導入の、その後の経緯と結果はどうか。

埼京線12月のダイヤ改正は

議員 12月のダイヤ改正で、埼京線と臨海副都心線が相互乗り入れされるが、通勤快速の快速化や終電時間の繰り下げ、本数の増加など、これまで以上に強力に交渉し、実現していただきたい。

総合政策部長

昨年5月に、市長がJR東日本の大宮支社長に直接、埼京線の増発等に関する要望書を手渡しました。

総務部長

本年6月に、埼玉県公共工事契約業務連絡協議会の中に「電子入札導入検討ワーキンググループ」が設置され、市町村との共同運営による電子入札システムの導入を計画し、導入方法、運営方法等について、検討されています。

本市でも、埼玉県との共同開発、運用を検討しているところですが。

高橋 秀樹 議員

下戸田地区にコミュニティ施設を

コミュニティ施設の整備は、地域のコミュニティの拠点施設として重要であり、コミュニティ施設建設は検討課題と認識しています。

「ラブ&ボディBOOK」の中学生への配布に配慮を

議員 厚生労働省の外郭団体の作成した、「思春期のためのラブ&ボディBOOK」は内容が不適切で、中学生に配布することには問題がある。

特に、人工中絶について法的に罰せられる行為にもかかわらず、「日本では中絶は許されている」と記述されており、不適切な内容となっている。

また、ピルの安全性が誇張されており、副作用について

いての記述がされておらず、教材としては問題がある。

教育長 中学3年生の時期に、正しい性に関する知識や心構えを指導することは大切であり、内容を精査し保健体育の指導で活用していく予定です。

配布に当たっては、生徒の発育段階に応じ指導するよう追加資料を配布します。

民間施設を保養所として利用契約しては

議員 戸田市が民間の施設と利用契約することで、市民が保養所を利用する場合の選択肢を広げてはどうか。

市民生活部長

健康保険組合や共済組合が、健康増進を目的とした福利厚生事業として、民間の保養施設を契約保養所として契約しているが、戸田市として可能かについて今後研究します。



▲配布には十分な配慮を

上戸田川の導水計画は

議員 ①その具体的な内容は、

②放水地点については、もっと上流の蕨市との市境まで延ばしては

都市整備部長

①国の直轄事業として、清流ルネッサンスⅡ（第二期水環境改善緊急行動計画）の対象河川である、笹目川、菖蒲川及び上戸田川の水質改善と流量の回復を目的とし、笹目川左岸側に敷設される導水管が東に分岐し、妙顕寺北側道路を経て、上戸田川新田橋付近に合流する既存水路に接続されることにより、上戸田川へ導入する計画で、17年度末の完成を予定しております。



▲川岸橋付近に排水施設がある

都市整備部長

①菖蒲川への雨水放流が効果的で、河川管理者である県と協議の結果、川岸橋付近に左右両岸で毎秒2・55立方メートルの雨水放流が認められ、年末を目標に排水施設的设计を進めております。

②概算工費は、10億円程度を見越しております。

③平成15年度は緊急対策として、川岸橋際の既存のはげきを最大限に利用したポンプ施設を実施いたしましたと考えております。

⑤戸田第二小学校付近に分散すべく、県と協議を進めております。

要介護認定者にも障害者控除の適用を

奥田 実 議員

議員 ①異常気象による集中豪雨のたびの、道路冠水や浸水の早期解消を。

②14年12月に下水道工事の設計が完了予定だが、概算工事の予算は。

③15年度予算に川岸地区水害の緊急対策の工費を。

④現設計は、菖蒲川の左岸と右岸の2カ所にポンプ施設を設け、強制排水を予定しているとのことだが、その内容は。

⑤菖蒲川の左岸側のはげ口について、更に1〜2カ所の分散を県に要望している

川岸地区の水害対策は

渡辺 武男 議員

都市整備部長

①菖蒲川への雨水放流が効果的で、河川管理者である県と協議の結果、川岸橋付近に左右両岸で毎秒2・55立方メートルの雨水放流が認められ、年末を目標に排水施設的设计を進めております。

②概算工費は、10億円程度を見越しております。

③平成15年度は緊急対策として、川岸橋際の既存のはげきを最大限に利用したポンプ施設を実施いたしましたと考えております。

⑤戸田第二小学校付近に分散すべく、県と協議を進めております。

望月 久晴 議員

菖蒲川への排水ポンプ設置計画は

は、県との協議で毎秒2・55立方メートルの排水が認められました。

この排水量を効果的に利用するため、はげ口の分散について、県と協議しながら計画を進めています。

工事費が約10億円程度かかるため、15年度から3カ年計画で行う予定です。

15年度は、川岸橋際の、既存のはげ口を利用した排水ポンプと、川岸右岸に、毎秒0・05立方メートルの排水ポンプを設置する予定です。

保育園の緊急待機児対策を

議員 現在、60名を超える待機児がいる中で、戸田公園駅利用地域では、今後約1年間で、田辺製薬、日通

商事、JR社宅などの跡地に、大規模マンションが建設されているのははじめ、1,000戸近いマンションが完成する。このままでは、15年度は大量の待機児が生まれる可能性があり、緊急の対策が必要ではないか。

福祉部長 16年度には2つの保育園が開園できるよう努力します。

15年度は、新曽保育園の建て替えで、定員を20名増やすのと、新たに家庭保育室が2つ程度増えるので、家庭保育室にも協力していただき、保育園の整備を図っていきたくと考えています。



▲一刻も早い水害対策を